

富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

授業科目名	読解C2a
担当教員	藤田 佐和子 (FUJITA, Satoko)
開講学期曜限	後期 (秋期)・火曜日 3 時限
対象	〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生 〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者
単位数	単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書 (成績記載) を発行します。
授業のねらい	このクラスでは、評論、エッセイなどを読み、大学での学習、研究生活に必要な上級の読解力を身につけます。また、そのために必要な漢字と語彙について学びます。テキストは日本語能力試験N1 (またはN2) 対策のものを用います。
達成目標	専門書や論文を読むために必要な読解の技術を習得すること。
授業計画 (授業の形式、 スケジュール等)	教科書は初回で学生のレベルを確認してから決め、スケジュールは教科書が決定後に知らせます。下記は『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』の教科書を使った場合の例です。 1～2週目 対比、情報素材 (全体のつかみ方) 3～4週目 言い換え、広告 5～6週目 比喩、お知らせ 7～8週目 疑問提示文、説明書き 9～10週目 指示語、表・リスト 11～12週目 「だれが」「なにが」、情報素材実践練習 13～14週目 下線部の意味、情報素材実践練習 15週目 テスト、テストのフィードバック
授業時間外学修 (事前・事後学修)	富山大学の LMS を用いて行う。 事前学修：『考える漢字・語彙 超級編』(ココ出版) の指定された範囲の単語を学習する。 事後学修： 授業終了後、翌週までに、LMS 上の基礎力確認テストを受ける。基礎力確認テストのフィードバックを参考にして、各自でさらに単語の学習を行う。 *単語学習の達成度は定期考査で確認する。
キーワード	上級日本語 読解 N1 N2
受講上の注意	
教科書・参考書等	『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』 (スリーエーネットワーク) ISBN: 9784883195718
成績評価の方法	授業への参加度:50%、テスト:50% (欠席が多い場合は評価対象外とします。) *日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。
関連科目	
備考	